

おわりに

この度は当同好会の 2017 年度会誌をご覧頂きありがとうございました。会員たちの個性溢れる記事、お楽しみいただけましたでしょうか。

“藤子不二雄同好会”。藤子・F・不二雄、藤子不二雄[Ⓐ]両氏の作品を愛する者たちが集うサークル。僕がこのサークルに入った時も、そして 4 年目の今でも思っています。

「マンガ家 2 人の同好会とかマニアックやな…。」と。僕が新入生を歓迎するのも複数回になりますが、毎回つい「こんなマニアックなサークルに人が来てくれるやろか…。」と勝手に思っています。でも、来てくれるんですね。そして NF の展示にも、何百部と刷った会誌が足りなくなってくる程沢山のお客さんが来てくださいます（ありがとうございます）。藤子不二雄がどれほど多くの人々を笑わせ、泣かせ、楽しませ、記憶に残る作品を生み出して来たか。改めてその偉大さを思い知るところです。

仰々しい書き方をしましたが、藤子作品を軸にしているんな“藤子好き”が集まり会誌という形となり、こうして NF で出会った皆様に読んで頂けることは本当に楽しく、うれしいことです。“藤子好き”と言ってももちろん人それぞれ個性があります。この会誌が藤子作品に興味を持って、自分だけの新たな“好き”を見つけるきっかけとなるなら、これほど喜ばしいことはありません。京大 F 同の誕生から 8 年。ペンネーム“藤子不二雄”の誕生から 63 年。これからも藤子不二雄の作品はたくさんの人々を笑わせ、泣かせ、楽しませていくことでしょう。そしてそんな藤子作品を愛する人間の集う場所として、F 同が長く続いていくことを願っております。ドラえもん誕生まであと 95 年。そこまで続くといいですね！

京都大学藤子不二雄同好会 前会長(6 代目) 阿知波

